

食品ロス削減に向けた文部科学省の取組

平成27年9月3日

文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課

学校における食育の取組の中で給食の時間等に「食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心をもつ」ことを指導

【指導内容の例】

- 感謝の気持ちの表れとして、残さず食べたり無駄なく調理したりすること。（「食に関する指導の手引 第一次改訂版」平成22年3月、文部科学省）



【内容】

- ・学校における食育の必要性
- ・食に関する指導の目標
- ・各教科等や給食の時間における食に関する指導の基本的考え方や指導方法

平成26年度スーパー食育スクール事業での取組事例

【 お茶の水女子大学附属小学校 】

- ・保護者と協働した給食指導や農業体験や調理実習などの取組を通じて、食べたことがないものや食べ慣れていないもの、嫌いなものでも少しずつ食べようという意識を持つようになり、残食の量が減少した。

【 富山県高岡市立二塚小学校 】

- ・食に関する指導やJAと連携した生産体験活動及び親子での体験活動等を通し、児童や保護者の食に関する意識や食習慣についての改善が見られ、日々の給食の残食がほぼ無いなど、好き嫌いせずに残さず食べようとする児童が大部分となった。

【 石川県白山市松南小学校 】

- ・生産者との交流給食の実施、地場産物を活用した学校給食の実施、給食の時間における食育の実践等により、給食を残さず食べれるようになった。